

2017年11月6日

en[縁] : アート・オブ・ネクサス 第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館帰国展

en: art of nexus Homecoming Exhibition of the Japan Pavilion from the 15th International Architecture Exhibition - La Biennale di Venezia

展覧会：2018年1月24日(水)～3月18日(日)

会場＝TOTOギャラリー・間（東京都港区南青山1-24-3 TOTO 乃木坂ビル3F）

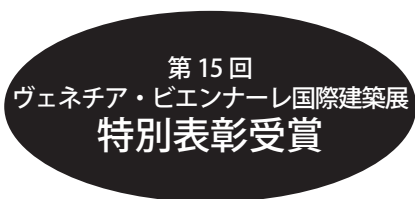
休館日＝月曜

開館時間＝11:00～18:00 入場無料

記念シンポジウム：2018年2月16日(金) 18:00～

CPD 認定プログラム

会場＝建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）事前申込制



アジア的なしなやかさで困難な時代を生き抜く12組の建築家たちの取り組みを紹介し、第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展で「特別表彰」を受賞した日本館展示に、新たなコンテンツを加えて再構成。

ヴェネチアで話題になった精巧な模型群に加え、出展作家の今を伝える映像作品、併催イベント等、さまざまな角度から、この先の建築と建築家像に迫ります。



困難な時代をしなやかに生き抜く、現代の建築家たちの展覧会

展覧会情報

展覧会名(日)	en[縁]: アート・オブ・ネクサス ——第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館帰国展
展覧会名(英)	en: art of nexus——Homecoming Exhibition of the Japan Pavilion from the 15th International Architecture Exhibition - La Biennale di Venezia
会期	2018年1月24日(水)～3月18日(日)
開館時間	11:00～18:00
休館日	月曜
入場料	無料
会場	TOTO ギャラリー・間 〒107-0062 東京都港区南青山1-24-3 TOTO 乃木坂ビル 3F TEL = 03-3402-1010 URL = www.toto.co.jp/gallerma/
交通案内	東京メトロ千代田線 乃木坂駅 3番出口徒歩1分／都営地下鉄大江戸線 六本木駅 8番出口徒歩6分 東京メトロ日比谷線 六本木駅 4a 番出口徒歩7分 東京メトロ銀座線・半蔵門線・都営地下鉄大江戸線 青山一丁目駅 4番出口徒歩7分
主催	TOTO ギャラリー・間
企画	TOTO ギャラリー・間運営委員会 特別顧問: 安藤忠雄 委員: 妹島和世/千葉 学/塚本由晴/エルウィン・ビライ
後援	(一社) 東京建築士会 / (一社) 東京都建築士事務所協会 / (公社) 日本建築家協会関東甲信越支部 / (一社) 日本建築学会関東支部
特別協力	独立行政法人国際交流基金、公益社団法人石橋財団
監修	山名善之
会場デザイン	teco / 金野千恵、アリソン理恵
出展作家	nmn / 常山未央 西田司+中川エリカ / 西田司、中川エリカ 成瀬・猪熊建築設計事務所 / 猪熊 純、成瀬友梨 仲建築設計スタジオ / 仲俊治、宇野悠里 能作アーキテクト / 能作文徳、能作淳平 miCo. / 今村水紀、篠原 勲 レビ設計室 / 中川 純 増田信吾+大坪克亘 / 増田信吾、大坪克亘 403architecture [dajiba] / 彌田 徹、辻 琢磨、橋本健史 青木弘司建築設計事務所 / 青木弘司 BUS / 伊藤 暁、坂東幸輔、須磨一清 ドットアーキテクト / 家成俊勝、赤代武志、土井 亘
映像	ドローイングアンドマニュアル

書籍情報

タイトル	『en[縁]: アート・オブ・ネクサス』
編者	山名善之+菱川勢一+内野正樹+篠原 雅武
発行日	2016年4月25日
体裁	B5判変型(168×210mm)、並製、160頁、和英併記
ISBN	978-4-88706-358-7
デザイン	刈谷悠三+角田奈央 / neucitora
定価	本体1,500円+税
発行	TOTO 出版 (TOTO 株式会社) TEL = 03-3402-7138、URL = www.toto.co.jp/publishing/



人・モノ・地域の縁 若手建築家12組の挑戦!

関連イベント

シンポジウム

本展で主題とした「建築の今日的状況」を歴史的・社会的に俯瞰して捉えなおし、読み解くためのシンポジウム。さらに、「新しい関係のかたち」が今後どこにつながっていくのか、そこに建築および建築家がどう貢献していけるのか、期待される役割と展開を展望します。

タイトル 第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館帰国展記念シンポジウム
「en[縁]:アート・オブ・ネクサス、その先へ」

日時 2018年2月16日(金) 17:00開場、18:00開演、20:30終演(予定)
会場 建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20)

監修・モデレーター 塚本由晴(建築家/アトリエ・ワン、東京工業大学大学院教授)
山名善之(建築家、東京理科大学教授、本展監修者)

パネリスト 槇文彦(建築家/槇総合計画事務所)
西田司(建築家/オンデザインパートナーズ)
成瀬友梨(建築家/成瀬・猪熊建築設計事務所)
能作文徳(建築家/能作アーキテクト)
伊藤暁(建築家/BUS、伊藤暁建築設計事務所)



槇文彦



塚本由晴

定員 350名/参加無料
参加方法 事前申込制: 申込期間内に TOTO ギャラリー・間ウェブサイトよりお申込みください。
URL = www.toto.co.jp/gallerma/

お申込期間 2017年11月17日(金) ~ 2018年1月28日(日)
応募者多数の場合、抽選の上、2018年2月9日(金)までに結果をご連絡いたします。

ギャラリートーク

国際的な舞台を経た現在の取り組みを出演作家たち自身の言葉で語り、社会において建築家や建築が担う可能性について議論を深めます。

タイトル my architecture, after the Venice Biennale
——私たちはどこに向かっているのか

開催日時、出演者 第1回: 2月9日(金)「使い方を引き出す建築」
西田司+中川エリカ/青木弘司建築設計事務所/ドットアーキテクト
第2回: 2月23日(金)「日常からの抽出」
nmn/増田信吾+大坪克亘/レビ設計室/teco
第3回: 3月2日(金)「暮らしとマテリアルをつなぐ」
成瀬・猪熊建築設計事務所/403architecture [dajiba]/能作アーキテクト
第4回: 3月16日(金)「The Presence of the Time」
仲建築設計スタジオ/miCo./BUS

時間 18:15開場、18:30開演、20:30終了予定

会場 TOTO ギャラリー・間 4F

定員 各回70名

参加方法 事前申し込み制、申込先着順受付/入場無料

※詳細は TOTO ギャラリー・間ウェブサイトをご覧ください。URL = www.toto.co.jp/gallerma/

展覧会について

TOTO ギャラリー・間では、「en[縁]:アート・オブ・ネクサス——第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館帰国展」を開催します。

第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展（2016年5月28日～11月27日）において日本館の展示「en[縁]:アート・オブ・ネクサス」は1975年以降生まれの建築家12組に光を当て、困難な時代の中で建築に取り組む彼らの実践を「人の縁」「モノの縁」「地域の縁」という3つのテーマで鮮やかに提示。日本国内のみならず世界中の人びとの共感を獲得し、「特別表彰」を受賞しました。

進歩と信じ、西洋社会の後を追いかけるように近代化の道を突き進んできた日本社会は、高度経済の終焉や3.11を経たいま大きな転換期を迎え、現代社会において建築が何を実現すべきなのか、改めて建築家ひとりひとりに問われています。本展で着目した建築家たちは、人びとのつながりや地域との連関といった小さな物語を丁寧に形に起こすことで、建築の新たな価値を創出してきました。その背景には、モダニズムが生まれたヨーロッパ社会がもつリジッドな石造文化とは異なる、アジア特有の柔軟な木造文化が強く関与しており、そこからは建築のもつ可能性をさらに押し広げ、独自の立ち位置を確立しようとする現代の建築家たちのしなやかな強さを感じられます。

本帰国展ではヴェネチアでの展示をベースに、映像や模型等のオリジナル要素を追加、再構成を行い、出展作家たちのみずみずしい感性から生み出される建築と、ビエンナーレ以降の取り組みについて紹介。記念シンポジウムや出展作家によるギャラリートークでの議論と合わせて、これからの時代に建築と建築家が果たす役割について展望します。

TOTO ギャラリー・間

監修者による展覧会コンセプト

日本における「en[縁]」展にむけて

第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展の日本館では、モダニズムを通して失ってきた社会のさまざまな「結びつき（アート・オブ・ネクサス）」を、アジア的なコンテキストのなかで価値観を捉えなおす試みであった。「en（縁）」というテーマの下、出展作家12組による建築を、「人の縁」「モノの縁」「地域の縁」といった絡み^{ふくそ}輻輳しあう3章のレイヤーで紹介した。

12組の建築を丁寧に読み込んでいくと、各々の建築家によって見いだされた社会的課題の「建築」的解法を理解することができる。ひとつひとつの建築には多くのセンシティブでナイーブなアイデアがあり、日本の今日的状況から未来を切り拓こうという意思を確認することができる。

もちろんそれは「大きな市民社会」に向けた強いメッセージを発するものではない。純粋性、抽象性や論理性といったモダニズム建築が抱いた「大きなひとつの理想」や、社会全体に対する「革命」を企てることを目指しているわけでもない。それぞれの建築には具体的な対象があり、そこには“人びとの生活の質を改善するための課題”が丁寧に見いだされている。論理的というより、日常的な課題に対して即興的、即物的に応える、「しなやかな」プリコラージュの様相を示している。

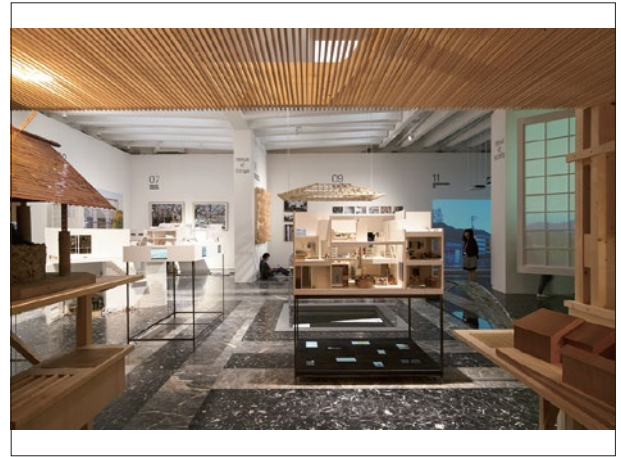
本帰国展では、ヴェネチア・ビエンナーレ日本館の展示「en[縁]:アート・オブ・ネクサス」を基調とするものの、コンテキストなしにテーマを正確に伝えることは難しい。そこで、日本館で表現されたアジア的な生活空間の延長線上にある日本の都市空間や室内空間を想起させる、散らかった状況、密度感、そして“感情移入”できるフェティッシュな展示物を残しながら、個々の設計者がヴェネチア・ビエンナーレを経験し、今後の創作活動にどのような指針を見いだしたのかも加え、困難な状況を超えて生き延びる現在の建築家の最前線での取り組みを提示したい。

山名善之／本展監修者

広報用画像 1/1



「en[縁]:アート・オブ・ネクサス」第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館展示風景



「en[縁]:アート・オブ・ネクサス」第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館展示風景
©石山和広



「en[縁]:アート・オブ・ネクサス」第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館出展作家
©永井杏奈

ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展について

ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展は、イタリアのヴェネチアで2年に一度開催され、世界中の建築家が参加する建築界のオリンピックです。

2016年に開催された第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展は、チリの建築家アレハンドロ・アラヴェナを総合ディレクターに迎え、「REPORTING FROM THE FRONT」というテーマの下、各国ごとの社会状況や課題に対し、建築がどのように応えるのか提示が求められました。

日本館の展示「en[縁]:アート・オブ・ネクサス」は、日本が直面する空き家や高齢化といった課題に対し、今日的方法で建築による解答を提示したことが評価され、特別表彰を受賞。

最高賞である金獅子賞を受賞したスペイン館は、「UNFINISHED」というテーマで、長引く不況のせいで建設途中でストップした建築群や、そこに暮らす若者たちの写真を通じて、スペインのリアリティを鮮明に描き出しました。

ペルー館のテーマは「Our Amazon Frontline」。教育を通じて貧困と戦い、熱帯雨林を保存するため、アマゾン流域の小学校を再建可能にするモジュールキットを提案し、日本と同時に特別表彰を受賞しました。

監修者プロフィール

山名善之 (やまな よしゆき)

東京理科大学工学部建築学科教授フランス政府公認建築家 DPLG、博士（美術史）専門：建築史・意匠学、アーカイブズ学 ICOMOS、DOCOMOMO のメンバーとして建築保存（近現代建築）、文化遺産分野で活動。1966 年東京都文京区生まれ。1990 年東京理科大学卒業。香山アトリエ／環境造形研究所、パリ・ベルヴィル建築学校 DPLG 課程（フランス政府給費留学生）、パリ大学パンテオン・ソルボンヌ校博士課程。アンリ・シリニア・アトリエ（パリ・文化庁在外派遣芸術家研修員）、ナント建築大学契約講師等を経て、2002 年より東京理科大学勤務。



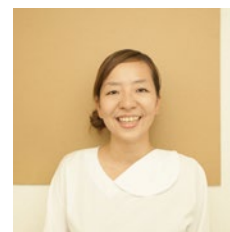
山名善之

会場デザインプロフィール

teco

金野千恵 (このん ちえ) / teco

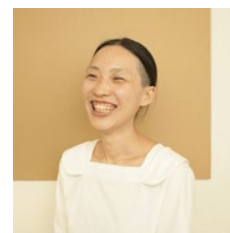
2005 年東京工業大学工学部建築学科卒業。同大学院在学中、スイス連邦工科大学奨学生。2011 年東京工業大学院博士課程修了、博士（工学）取得。2011-2012 年神戸芸術工科大学大学院助手、KONNO 設立。2013-2016 年日本工業大学助教。2015 年 teco 設立。



金野千恵

アリソン理恵 (ありそん りえ) / teco

2005 年東京工業大学工学部建築学科卒業。2011 年東京工業大学大学院博士課程単位取得退学。2011-2014 年ルートエー勤務。2014-2015 年アトリエ・アンド・アイ坂本一成研究室勤務。2015 年 teco 設立。



アリソン理恵

出展作家プロフィール 1/7

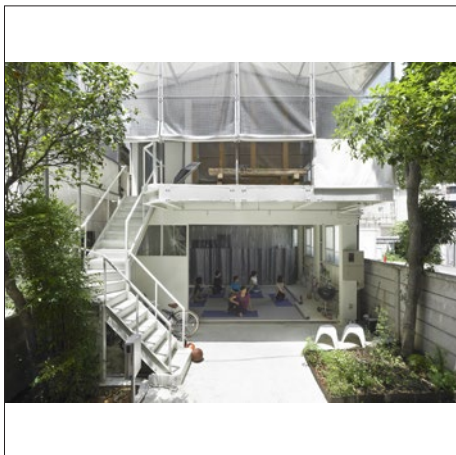
常山未央 / mnm

常山未央(つねやま みお) / mnm

1983年神奈川県生まれ。2005年東京理科大学工学部第二部建築学科卒業。2005-2006年ブノート・ザパター・アーキテクト(スイス)。2006-2008年スイス政府給費留学生。2008年スイス連邦工科大学ローザンヌ校建築学科修士課程修了。2008-2012年HHFアーキテクト(スイス)勤務。2012年mnm設立。2013-2015年東京理科大学工学部第二部建築学科補手、2015年より同校助教。2014年より武蔵野美術大学造形学部建築学科非常勤講師。



常山未央



不動前ハウス(東京都、2013年)

設計: 常山未央 / mnm @Sadao Hotta

西田司 + 中川エリカ

西田司(にしだ おさむ) / 西田司 + 中川エリカ

1976年神奈川県生まれ。1999年横浜国立大学卒業。建築設計 SPEED STUDIO 設立・主宰。2002-2007年東京都立大学大学院助手。2004年オンデザインパートナーズ設立。2005-2009年横浜国立大学Y-GSA助手。2013-2016年東京大学、東京理科大学非常勤講師。



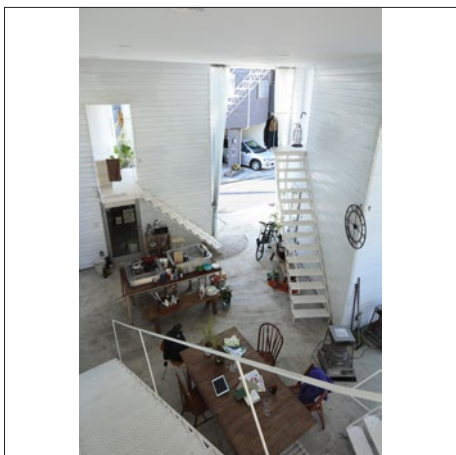
西田司

中川エリカ(なかがわ えりか) / 西田司 + 中川エリカ

1983年東京都生まれ。2005年横浜国立大学工学部建設学科建築学コース卒業。2007年東京藝術大学大学院美術研究科修了。2007-2014年オンデザイン勤務。2014年中川エリカ建築設計事務所設立。2012年横浜国立大学非常勤講師。2014-2016年横浜国立大学大学院Y-GSA設計助手。現在、東京藝術大学、法政大学、芝浦工業大学非常勤講師。



中川エリカ



ヨコハマアパートメント(神奈川県横浜市、2009年)

設計: 西田司 + 中川エリカ @Koichi Torimura

出展作家プロフィール 2/7

成瀬・猪熊建築設計事務所

猪熊 純(いのくま じゅん) / 成瀬・猪熊建築設計事務所

1977年神奈川県生まれ。2004年東京大学大学院修士課程修了。2006年まで千葉学建築計画事務所勤務。2007年成瀬・猪熊建築設計事務所共同設立。2008年から首都大学東京助教。



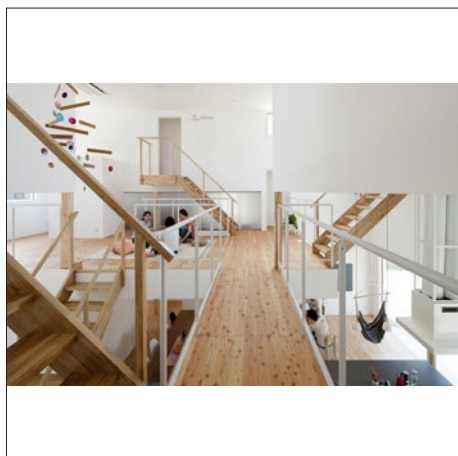
猪熊 純

成瀬 友梨(なるせ ゆり) / 成瀬・猪熊建築設計事務所

1979年愛知県生まれ。2007年東京大学大学院博士課程単位取得退学。2007年成瀬・猪熊建築設計事務所共同設立。2009年東京大学特任助教。2010-2017年同助教。



成瀬 友梨



LT 城西 (愛知県名古屋市、2013年)

設計：成瀬・猪熊建築設計事務所 ©Masao Nishikawa

仲建築設計スタジオ

仲 俊治(なか としはる) / 仲建築設計スタジオ

1976年京都府生まれ。1999年東京大学工学部建築学科卒業。2001年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修了。2001-2008年株式会社山本理頭設計工場勤務。2009年株式会社仲建築設計スタジオ設立。2009-2011年横浜国立大学大学院 Y-GSA 設計助手。2011-2014年東京都市大学非常勤講師、2015年東京大学非常勤講師。現在、横浜国立大学、明治大学、関東学院大学、東京理科大学、法政大学、首都大学東京にて非常勤講師。



仲 俊治

宇野 悠里(うの ゆうり) / 仲建築設計スタジオ

1976年東京都生まれ。1999年東京大学工学部建築学科卒業。2001年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修了。2001-2013年株式会社日本設計勤務。2013年より株式会社仲建築設計スタジオ共同主宰。



宇野 悠里



食堂付きアパート (東京都、2014年)

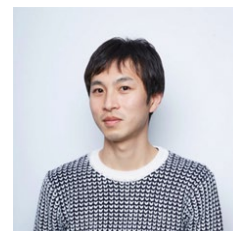
設計：仲建築設計スタジオ

出展作家プロフィール 3/7

能作アーキテクト

能作文徳(のうさく ふみのり) / 能作アーキテクト

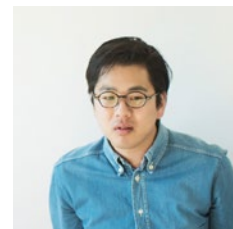
1982年富山県生まれ。2005年東京工業大学建築学科卒業。2007年東京工業大学大学院建築学専攻修士課程修了。2008年Njiric+Arhitekti勤務。2010年能作文徳建築設計事務所設立。2012年東京工業大学大学院建築学専攻博士課程修了、博士(工学)取得。2012年より東京工業大学大学院建築学系助教。



能作文徳

能作淳平(のうさく じゅんぺい) / 能作アーキテクト

1983年富山県生まれ。2006年武蔵工業大学卒業。2006-2010年長谷川豪建築設計事務所勤務。2010年能作淳平建築設計事務所設立。



能作淳平



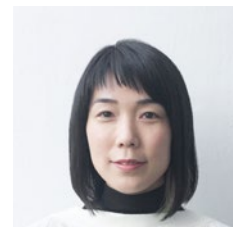
高岡のゲストハウス(富山県、2016年)

設計: 能作アーキテクト ©Jumpei Suzuki

miCo.

今村水紀(いまむら みずき) / miCo.

1975年神奈川県生まれ。1999年明治大学理工学部建築学科卒業。2001-2008年妹島和世建築設計事務所勤務。2008年miCo.設立。現在女子美術大学、明治大学、日本大学、武蔵野美術大学非常勤講師。



今村水紀

篠原 勲(しのはら いさお) / miCo.

1977年愛知県生まれ。2003年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程修了。2003-2013年SANAA勤務。2008年miCo.設立。現在女子美術大学、東京理科大学、昭和女子大学非常勤講師。



篠原 勲



駒沢公園の家(東京都、2011年)

設計: 今村水紀+篠原勲 / miCo. ©Koichi Torimura

出展作家プロフィール 4/7

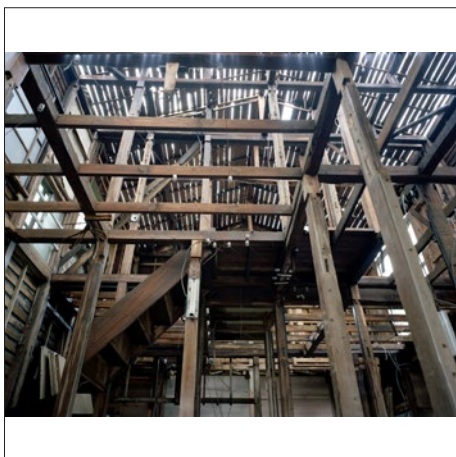
レビ設計室

中川 純(なかがわ じゅん) / レビ設計室

1976年神奈川県生まれ。2003年早稲田大学理工学部建築学科卒業。2003-2006年難波和彦・界工作舎勤務。2006年レビ設計室設立。2013年早稲田大学理工学研究所研究員。2014年より早稲田大学大学院田辺新一研究室在籍。現在、武蔵野美術大学、千葉工業大学非常勤講師。



中川 純



15Aの家(東京都、進行中)
設計: レビ設計室

増田信吾+大坪克亘

増田信吾(ますだ しんご) / 増田信吾+大坪克亘

1982年東京都生まれ。2007年武蔵野美術大学卒業。2007年増田信吾+大坪克亘共同主宰。

大坪克亘(おおつぼ かつひさ) / 増田信吾+大坪克亘

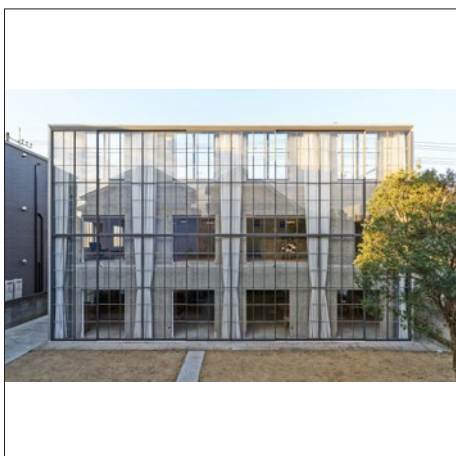
1983年埼玉県生まれ。2007年東京藝術大学卒業。2007年増田信吾+大坪克亘共同主宰。



増田信吾



大坪克亘



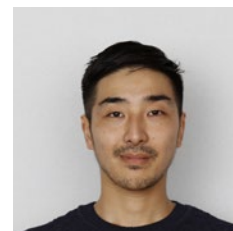
躯体の窓(千葉県、2014年)
設計: 増田信吾+大坪克亘

出展作家プロフィール 5/7

403architecture [dajiba]

彌田 徹 (やだ とおる) / 403architecture [dajiba]

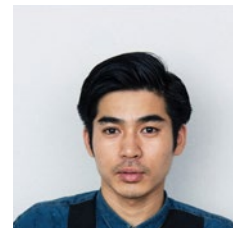
1985年大分県生まれ。2008年横浜国立大学建設学科建築学コース卒業。2011年筑波大学大学院芸術専攻貝島研究室修了。2011年403architecture [dajiba] 設立。



彌田 徹

辻 琢磨 (つじ たくま) / 403architecture [dajiba]

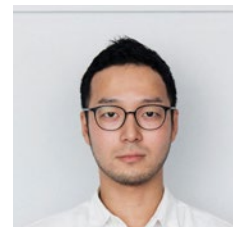
1986年静岡県生まれ。2008年横浜国立大学建設学科建築学コース卒業。2010年横浜国立大学大学院建築都市スクールY-GSA修了。2010年Urban Nouveau*勤務。2011年メディアプロジェクト・アンテナ企画運営。2011年403architecture [dajiba] 設立。現在、滋賀県立大学、大阪市立大学、武蔵野美術大学非常勤講師。



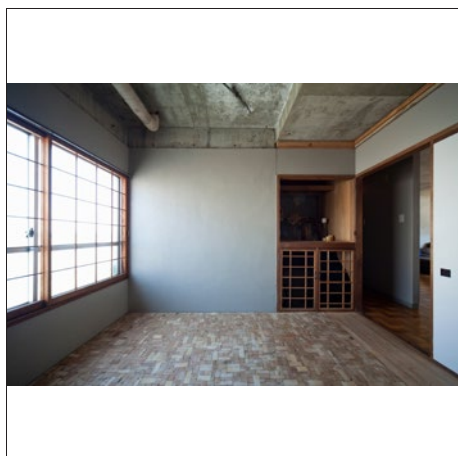
辻 琢磨

橋本健史 (はしもと たけし) / 403architecture [dajiba]

1984年兵庫県生まれ。2005年国立明石工業高等専門学校建築学科卒業。2008年横浜国立大学建設学科建築学コース卒業。2010年横浜国立大学大学院建築都市スクールY-GSA修了。2011年403architecture [dajiba] 設立。現在、名城大学非常勤講師。



橋本健史



渥美の床 (静岡県浜松市、2011年)

設計：403architecture [dajiba] ©kentakasegawa

青木弘司建築設計事務所

青木弘司 (あおき こうじ) / 青木弘司建築設計事務所

1976年北海道生まれ。2001年北海学園大学工学部建築学科卒業。2003年室蘭工業大学大学院修了。2003-2011年藤本壮介建築設計事務所勤務。2011年青木弘司建築設計事務所設立。2013-2015年東京理科大学非常勤講師。現在、武蔵野美術大学、東京造形大学、東京大学、前橋工科大学非常勤講師。



青木弘司



調布の家 (東京都、2014年)

設計：青木弘司建築設計事務所

出展作家プロフィール 6/7

BUS

伊藤 暁(いとう さとる) / BUS

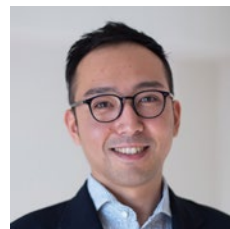
1976年東京都生まれ。2000年横浜国立大学工学部建設学科卒業。2002年横浜国立大学大学院工学研究科修士課程修了。2002-2006年 aat+ ヨコミゾマコト建築設計事務所勤務。2007年伊藤暁建築設計事務所設立。現在、東洋大学准教授。



伊藤 暁

坂東幸輔(ばんどう こうすけ) / BUS

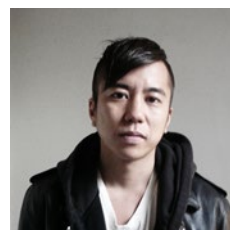
1979年徳島県生まれ。2002年東京藝術大学美術学部建築科卒業。2002-2004年スキーマ建築計画勤務。2008年ハーバード大学大学院デザインスクール修了。2009年ティーハウス建築設計事務所勤務。2010年坂東幸輔建築設計事務所設立。2010年BUS設立。2010-2013年東京藝術大学美術学部建築科教育研究助手。2013年 aat+ ヨコミゾマコト建築設計事務所勤務。2015年より京都市立芸術大学講師。



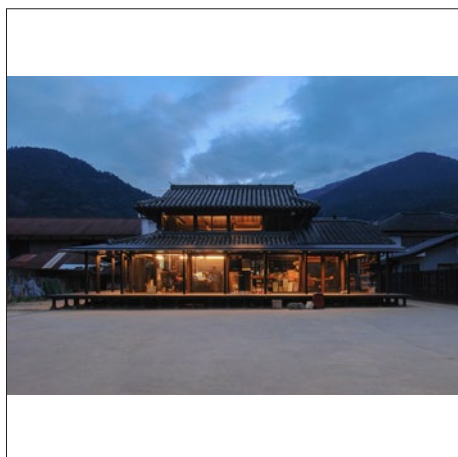
坂東幸輔

須磨一清(すま いっせい) / BUS

1976年東京都生まれ。1999年慶應義塾大学環境情報学部卒業。2002年コロンビア大学建築修士科卒業。2004-2007年 ROCKWELL GROUP 勤務。2007-2010年 VOORSANGER ARCHTECHTS 勤務。2011年須磨設計設立。



須磨一清



神山町プロジェクト えんがわオフィス (徳島県、2013年)
設計：BUS

出展作家プロフィール 7/7

ドットアーキテクト

家成俊勝(いえなり としかつ) /ドットアーキテクト

1974年兵庫県生まれ。1998年関西大学法学部法律学科卒業。2000年大阪工業技術専門学校夜間部卒業。2004年ドットアーキテクト共同主宰。現在京都造形芸術大学准教授、大阪工業技術専門学校非常勤講師。



家成俊勝

赤代武志(しゃくしろ たけし) /ドットアーキテクト

1974年兵庫県生まれ。1997年神戸芸術工科大学芸術工学部環境デザイン学科卒業。北村陸夫+ズーム計画工房、宮本佳明建築設計事務所を経て、2004年ドットアーキテクト共同主宰。現在大阪工業技術専門学校特任教員、神戸芸術工科大学非常勤講師。



赤代武志

土井 亘(どい わたる) /ドットアーキテクト

1987年神奈川県生まれ。2013年慶應義塾大学政策・メディア研究科修士課程修了。studio mumbai architects を経て、2014年よりドットアーキテクトに参画。



土井 亘



馬木キャンプ(香川県小豆島、2013年)

設計:ドットアーキテクト ©Yoshiro Masuda